

生体系NMR実習 開催報告

◆開催内容

◆生体系NMR実習

【目的】 メタボロミクス(代謝産物の網羅解析)で利用する分析法の一つとしてNMRが挙げられる。本講習は技術職員の実業務において必要となるNMRメタボロミクスに関する知識・技術の習得を目的として開催する。

【開催日時】 2023年 7月26日(水)、27日 (木)

【場所】 北海道大学 理学部

【講師】 相沢 智康 北海道大学 大学院先端生命科学研究院

【参加対象者】

- ・ NMRを管理担当している大学技術職員・技術補助員
- ・ NMRの基礎知識を有する方
- ・ 両講習会に参加可能な方

【主催】 大学連携研究設備ネットワーク

【共催】 マテリアル先端リサーチインフラ、北海道大学先端NMRファシリティ、NMR PLATFORM

【企画・運営】 NMR Club

【プログラム】

7月26日(水) 15:00 - 17:00

- ・ NMRメタボロミクスの基礎

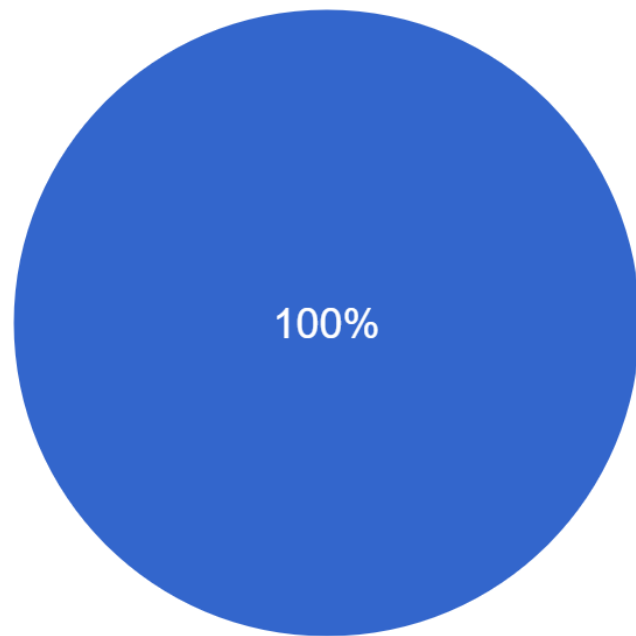
7月27日(木) 10:00 - 17:00

- ・ NMRメタボロミクス_測定・解析

◆アンケート結果

講習会の満足度を選択してください。

9件の回答

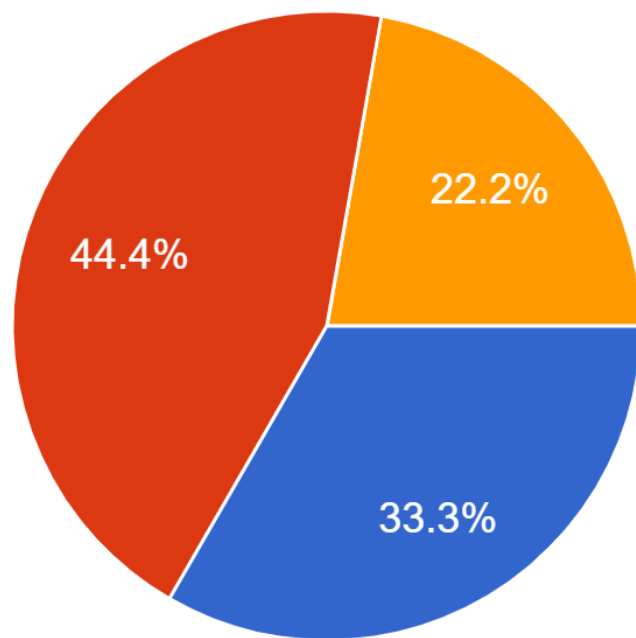


- 大変満足
- おおむな満足
- やや不満
- 不満

◆アンケート結果

講習会のレベルはいかがでしたでしょうか？

9件の回答

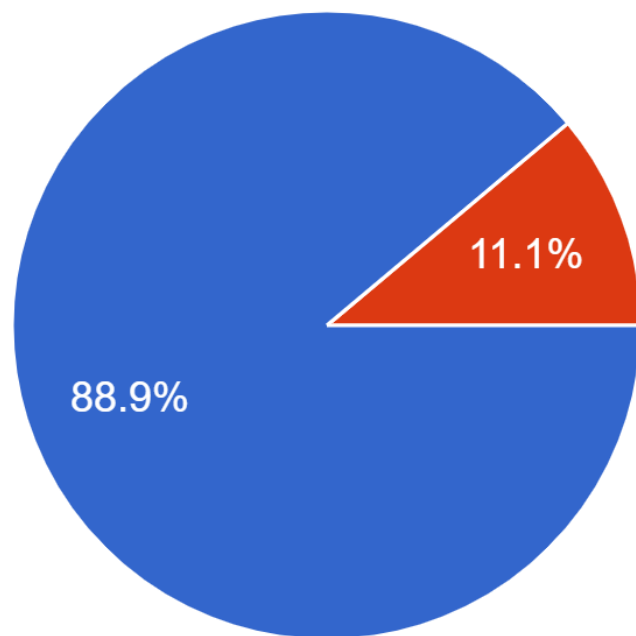


- 十分理解できた
- 理解できた
- やや難しかった
- 難しかった

◆アンケート結果

今回の講習会は今後の業務に役立つでしょうか？

9件の回答



- 大變役に立つ
- 役に立つ
- あまり役に立たない
- 役に立たない
- わからない

◆アンケート結果

Q. 今回の講習会の感想等をお聞かせください。

- 非常に得ることの多い講習会でした。サンプル調整から、データ解析まで詳しく説明いただき、とても有意義でした。今回得た知識をしっかりと活かせるようにしたいです。
- ターゲット解析とノンターゲット解析についての理解が深まって良かった。
- メタボローム解析については予備知識もなかった為、実際に相談のあったサンプルを用いて試料調整から測定後の解析まで体系的に手法を提示していただき有意義な研修でした。データを平均化してしまうベニングの特徴から、汎用的な低磁場のNMRにおいても高磁場NMRと遜色なくメタボローム解析ができる可能性も提示していただきとても参考になりました。使用したchenomxのフィッティング可能な化合物は動物性由来のものが多いため、今回の植物サンプルにおいてもフィッティングできる化合物が増えれば更なる多変量解析への可能性から非常に将来性の高い分野だと感じました。
- サンプル調整から測定、解析まで網羅的に学ぶことが出来た。自分の学んだことのない分野だったので、今後の業務に大変役立ちそうだ。
- メタボローム解析について、知見のある北海道大学相沢先生のお話を伺うことができ、非常に満足いたしました。私個人として、学内利用者より以前からメタボローム解析の問い合わせがあり、今回、相沢先生、大西様や研究室の学生方に座学、実習でノウハウを伺うことができ、貴重な時間を過ごすことができました。特に今回相談させていただいた玉ねぎサンプルはNMRの測定から、ケノミックスの解析方法までご教示していただき、感謝いたします。ケノミックスのソフトについては、これから使いこなせるように復習し、学内利用者へお伝えしていく予定です。この度は本講習会に参加させていただいた関係者方々へ、改めて感謝申し上げます。
- 高磁場だけでなく、低磁場装置の有用さを確認できたのが良かったです

◆アンケート結果

Q. 今後、NMRの講習会でどのような内容を希望されますか？

- 主成分解析など。
- 多核での定量NMRの問い合わせをいただく事があったので、その手法を学びたい。
- MSとコラボしてメタボローム解析の日本酒版を開催していただけると大変助かります